

「平成 26 年 2 月 14 日～15 日の大雪に伴う被害状況等」

(平成 26 年 2 月 24 日 第 3 報更新)

※更新箇所は下線部

平成 26 年 2 月 14 日～15 日の大雪に伴い、東京都内では、青梅市の御岳山、奥多摩町、檜原村で積雪による孤立世帯が発生しました。このため、自衛隊、警察機動隊、消防庁による除雪が行われました。本会では各部署において区市町村社会福祉協議会や会員施設、民生委員等に連絡を取り、被害の状況等を確認しました。今後、状況に変化があることに留意ください。

1 区市町村社会福祉協議会関係

(1) 奥多摩町社会福祉協議会

主要道路が雪崩や倒木により通行止めとなりました。雪崩により家屋の損壊等により町民 4 名が避難しています。当初 266 世帯 494 人が孤立しましたが、23 日（日）に全ての孤立世帯が解消されました。また、町内への医療機関への送迎（外出支援サービス）が休止になった方のうち、薬が不足した方への対応を奥多摩町社会福祉協議会で行いました。奥多摩町社会福祉協議会で運営する居宅介護支援事業所は 18 日（火）から、高齢者デイサービスは 19 日（水）以降に再開しました。訪問介護も随時、再開しています。

奥多摩町社協では、21 日（金）に奥多摩町災害ボランティアセンターを設置し、22 日（土）からボランティアの受付・活動を行い、22 日（土）には 46 人、23 日（日）には 72 人のボランティアが活動に参加し、町内 9 か所の除雪を行いました。予定した場所の除雪が早期に終わったことから、同センターは 23 日（日）をもって閉設しています。

(2) 檜原村社会福祉協議会

村内都道が全面通行止めとなりました。20 日（木）午後に全ての孤立世帯が解消されました。村と檜原村社会福祉協議会で高齢者等の安否確認を行い、連絡がとれなかった 1 名を村外の病院に搬送しました。檜原村社会福祉協議会による訪問介護は 18 日（火）から、高齢者デイサービス、給食配送サービスは 20 日（木）から、福祉作業所は 21 日（金）から再開しました。

重機による除雪が優先して行われています。また、地元および近隣住民により除雪支援活動が行われています。そのため、現在のところ他地域からのボランティア募集は見合わせています。

本会では 21 日（金）に東京ボランティア・センターに要請のあったスコープを檜原村社会福祉協議会に届けました。

(3) 青梅市社会福祉協議会

青梅市では御岳山にて 36 世帯 141 人が孤立しましたが、除雪作業により 19 日（水）午後 3 時に集落へ人道幅（1m 程度）が到達しました。

21 日（金）に大島社会福祉協議会が土石流災害対応に使用したスコープの一部を青梅市社会福祉協議会に届けました。

2 福祉施設関係

(1) 高齢者福祉施設

青梅市、奥多摩町、檜原村の会員施設では、J R 青梅線の不通と交通規制に伴い出勤に数時間かけた職員、出勤ができない職員、泊まり込む職員などの体制となりました。食材があと 1～2 日という状況となった施設もありましたが、地元業者が優先してくれたり非常食も混ぜながら使うなどでなんとかしのぎました。リフト車が雪の重みでつぶれた施設もありました。

奥多摩町内の特別養護老人ホーム 3 か所から雪かき用の機材を提供してほしい旨の要望が 21 日（土）にあったため、高齢者施設福祉部会を通じて手配しました。

(2) 障害者施設

青梅市内の会員施設でも職員が通勤に数時間かけたり泊まり込む状況がありました。知的発達障害部会において全会員施設に対するアンケート調査を実施しました。

奥多摩町内の障害者施設 1 施設から雪かき用の機材を提供してほしい旨の要望が 21 日にあったため、知的発達障害部会を通じて手配しました。

(3) 児童福祉施設

山間部の児童養護施設に電話で確認したところ、大きな被害はありませんでした。保育所では雨漏りがみられますが園舎に大きな被害はありませんでしたが、出勤できない職員がいる状況があったほか、給食の材料が入らないため、園内の食材で対応した保育所もありました。保育部会において全会員施設に対するアンケート調査を実施しました。

奥多摩町内の保育所 1 施設から雪かき用の機材を提供してほしい旨の要望が 21 日（土）にあったため、保育部会を通じて手配しました。

3 民生児童委員関係

西多摩郡の町村部の民協会長を通じて被害状況を把握しました。前週の大雪の後の安否確認の際にひとり暮らしの高齢者に注意を喚起するなどの取組みを行った地区があったほか、見回りを行った担当地区で住民に被害がなかったものの、カーポートやベランダ、屋根に被害のある家屋がみられました。